



「あやとりい ひよこ編」の「とびだしているこ、だれかな」のワークシートを題材に、学生たちが先生役と幼児役になって授業が行われた



チャイルドビジョンを使って、幼児の視野の狭さを体験

想を語った。も高まったように思

- ※1 鈴鹿モビリティ研究会は鈴鹿市とHondaが、将来のより良い交通環境づくりをともに進めることを目的として1993年に設立され、道路環境の改善や交通安全プログラムの開発、教育の実施などを行っている。

# TRAFFIC ADVICE [岡山短期大学]

★交通安全活動をサポートする

「幼児に安全確認の方法を教える時、「止まる」と「左右を見る」を同時に練習するとなかなか身に付きません。まず、歩いて止まることを繰り返して練習させてください。その後左右を見ることを教えてあげた方が効果的です。止まることで、周囲をきちん

防ぐことが交通安全教育の目的です。また、幼児の段階から交通ルールを教えることで、将来のより良い交通社会人を育てることが出来ます」とインストラクターが説明。

「とびだしているこ、だれかな」のワークシートを使って授業を行う。先生役になった学生がボードに貼られたイラストを指して、「この絵の中に、道路に飛び出している子どもはいくつあるか?」とその他の学生たちに問いかける。学生の一人は前に出てサッカーボールを追いかけて車道に飛び出そうとする子どもを指した。先生役の学生が「この子はどうすればいい?」と尋ねると、「止まる」という声が生徒たちからあがる。幼児には道路を渡る時「止まる」「渡る合図(手をあげる)」「左右を確認する」「渡る」という手順で教えることを全員で確認して座学は終了した。

「あやとりい ひよこ編」の一部をインストラクターが実演。その後、学生が先生となって「とびだしているこ、だれかな」のワークシートを使って授業を行う。先生役になった学生がボードに貼られたイラストを指して、「この絵の中に、道路に飛び出している子どもはいくつあるか?」

## 保育者をめざす学生に交通安全教育を

### 通じて、命の大切さを考えてもらおう

岡山短期大学幼児教育学科(岡山県倉敷市)では学生のために「人命尊重マインド養成支援プログラム(平成19年文部科学省学生支援GP選定)」という取組みを行っている。同プログラムは人命尊重の心と自尊心との育成を図り、社会の中で自ら進んで自他の安全確保と救命に貢献し、また自信を持って保育の仕事に当たることのできる有能な保育者の養成を目的としている。この取組みの中には体験型学習による交通安全教育研修がある。



四輪研修ではインストラクターが安全でスムーズなハンドル操作を指導



自動車免許を持っていない学生は原付を使って、安全運転について理解を深めた

と見る準備ができるのです」と具体的な指導方法をアドバイスした。さらに、学生の代表者がチャイルドビジョンを使用して、幼児の視野の狭さを体験した。

## 交通安全協力企業として本田技研工業(株)に感謝状

### 第48回交通安全国民運動中央大会

1月18日、日比谷公会堂(東京都千代田区)にて開催された第48回「交通安全国民運動中央大会(主催:財)全日本交通安全協会、警察庁)において本田技研工業(株)は交通安全協力企業として感謝状を贈呈された。これは、「多年にわたる交通安全思想の普及啓蒙をはじめ交通安全対策事業を積極的に推進し、交通事故防止に多大の貢献をしてきた」ことが評価されたもの。この日、青木哲・本田技研工業(株)代表取締役会長に今井敬・(財)全日本交通安全協会会長が感謝状を授与した。



第48回「交通安全国民運動中央大会」のよう常陸宮殿下がお言葉を述べられた

- 活動短信 ●交通安全センター 1月
- 交通安全センター 1月
- 交通安全センター 1月

## NEWS REVIEW

### ●交通事故死ゼロを目指す日

2月20日と4月10日は交通事故死者数をゼロに

福田内閣は消費者・生活者の視点から、安心できる生活環境の実現を目指すために「生活安心プロジェクト」を立ち上げた。そして昨年末、同プロジェクトに関する関係閣僚会合でまとめられた「緊急に講ずる具体的な施策」において、新たな国民運動として「交通事故死ゼロを目指す日」が設けられた。平成20年は2月20日および4月10日に決定され、さまざまな広報活動を通じて、交通安全に対する国民の更なる意識の向上を図り、近年の交通事故死傷者数の減少傾向を確実なものにすることを目的とする。

内閣府交通安全対策担当の和田敏一参事官補佐は「国民一人ひとりに交通事故が発生しないよう適切な行動をとっていただくために、国と地方自治体、関係機関・団体が連携し、実践してほしい交通マナーなどについて、広く国民に呼びかけていきたい」と話す。また4月10日については、春の全国交通安全運動と連動した取組みが予定されているという。

## TOPICS 交通安全協力企業として本田技研工業(株)に感謝状



今井敬・(財)全日本交通安全協会会長から感謝状を授与される青木哲・本田技研工業(株)代表取締役会長(写真左)

最後に大会宣言が読み上げられ、高齢者子どもの交通事故防止活動の徹底、飲酒運転等悪質・危険な運転の追放、歩行者・自転車利用者の交通事故防止の推進、交通安全教育指針に沿った交通安全教育の推進、すべての座席のシートベルト、チャイルドシート、の正しい着用を徹底して国民運動として強力に推進していくことが強く宣言された。

下が「国民総ぐるみの交通安全運動が一層推進されることを心から願ってやみません。交通安全活動で表彰を受けられる方の平素のご苦勞に対し、敬意を表し、心から祝意を表します」とお言葉を述べられた。さらに、二橋正弘・内閣官房副長官より福田内閣総理大臣のメッセージが伝えられるなど、来賓の挨拶が行われた。

- 交通安全センター 1月
- 交通安全センター 1月
- 交通安全センター 1月

- 交通安全センター 1月
- 交通安全センター 1月
- 交通安全センター 1月